



笑顔でチャレンジ!



【発行者】

東村立高江小学校

校長 大城 豊

TEL: 43-2683

FAX: 43-2523

学校教育目標: 自ら学び、考え、行動し、たくましく生きる 心豊かな高江っ子の育成

青空の下 心を燃やす 大運動会!



10月2日(日)に開催される運動会に向け、児童そして全職員(チーム高江)、残暑に負けずみんな笑顔いっぱい運動会を成功させようと練習・準備に励んでいます。今年の運動会も、新型コロナウイルス感染状況と感染防止の観点から、PTA 役員会で検討した結果、規模やプログラム内容を縮小しての開催といたしました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

コロナ禍ではありますが、今年度『青空の下 心を燃やす 大運動会!』をテーマに子供たちは、地域皆様へ笑顔と元気をお届けしたいと頑張っています。当日の、12名の高江っ子達の一生(笑)懸命な姿にご期待ください。!(^)!

今後とも子ども達の健やかな成長と活躍、そしてステキな笑顔を保護者・地域・学校みんなで見守り育ててまいりたいと思います。ますますのご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

☆10月1日(土) 運動会前日 PTA 作業・準備

☆10月2日(日) 高江小学校運動会 9:00 入場開始!

※詳細は、お手元に届いたご案内・プログラムをご参照ください。

～子どもは、家庭で育まれ 学校で鍛えられ 地域で磨かれる～

9月もいろいろな体験&学びがいっぱい!!(^^)!

9/10(土)の25回目を迎える「ていーだ学校」をはじめ、15日(木)に行われた「校内童話お話大会」、そして竹島喜芳さんをお招きしての「キャリア講話」、23日(金)の交通安全を呼びかける「ハーブティー作戦」等、今月も様々な豊かな体験を通して、いろんなことを学ぶことができました。

9/22(木)沖縄タイムスに掲載されました。

高江小講演 給食招待の縁

中部大の竹島准教授 35年前に雨宿り中

【東】2011年から毎年、東村の高江小学校に柿を送るなど交流が深い中部大学 愛知県 准教授の竹島喜芳さん(56)＝岐阜県在住＝によるキャリア講話が15日、同校であった。「もしほくが高江の小学だったならこんなところを大切に過ごしたい」と題して、やんばるの森や環境を大切にすることを呼びかけた。(宮城いづか通信員)



講話した竹島喜芳さん(後列中央)児童たち15日東村高江小学校

竹島さんは、持続的森林資源管理を研究しており、ドローンを使った森林情報収集などを行っている。「自然保護」という言葉があまり聞かれなかったパル期の水質汚染や、工場の煙の臭いがしていたことが当たり前だった幼少期など、写真を見せて自己紹介した。小学2年の時、同級生の1人が沖縄国際海洋博覧会に行ったことで初めて、沖縄の存在を知った竹島さんは、35年前の大学1年の春、沖縄本島を徒歩で10日間かけて一周した。ハイビスカスが咲き、ウミカメの死骸を海岸で見たり、ハブがひかれていたのを見たりして、「遠い所に来たんだなとうれしくなった」と話した。

当時の感動や自然の大切さ説く

「やんばるを知らない人に出会ったら、この素晴らしい森や環境のことを君たちの目線で伝えてください」とやんばるの森への思いと大切さも語った。6年生の森岡丸さんは「生き返らせること、空を身体で飛ぶこと以外は何でもできるという言葉が心に残りました。岐阜県から遠い高江小学校まで来てくれてありがとうございます」とお礼を述べた。



「ていーだ学校」では、地域の方々を講師に21もの講座が開催されました。その中高江小では、「切り絵講座：荘司剛さん」「木工講座：伊佐弓弦さん」「焼き物講座：森貴希さん」3つの講座があり、ステキな作品&思い出づくりを体験することができました。



10月13日に開催される「東村童話お話大会」への高江小代表は、低学年：島袋明依さん、高学年：荘司蓮さんが選ばれました。村大会に向けての次のチャレンジに期待です!

*琉大より、玉城里帆先生・大城智成先生・上門末希先生の3名が「教育実践実習生(9/20～10/4)」として、運動会練習や授業実践等を頑張っています。よろしくお願いします。